

藤樹人間学塾

藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に藤樹思想を学ぶとともに、今日的意義を自分の頭で考え、仲間と議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月原則第一土曜日の午後、開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

一月六日（土）午後、第77回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

高島藤樹会の活動

今回から中江藤樹原著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』をテキストに学び始めました。『中庸』は、孔子の教えを孔子の孫にあたる子思が解き明かし、まとめた書物です。その『中庸』読み下し文を素読した後、『論語』と『大学』、

『中庸』の関係、「大学の三綱領」の説明をしました。そして中江藤樹の「孝の思想」について解説し、本書は『中庸』を藤樹思想で解釈したものだと話しました。

すると初参加の人から「今まで疑問に思っていたことが分かって目か



らウロコが落ちました」と嬉しい言葉をいただきました。

二月四日（日）午後、第78回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

最初に『坂村真民詩集一〇〇選』の話をしました。円覚寺派管長の横田南嶺師が選ばれた素晴らしい詩集です。そして『中庸』を素読し、『中庸解・通釈』に入りました。前

文で「中庸は明徳の別名なり」と言い切られている意味を説明しました。フリートキングでは、約二千五百

年前の同時期に釋迦、孔子、キリスト、モハメッドが現れ、その教えが現代まで続いている意味は何かという問いが出され、皆で議論しました。

三月三日（土）午後、第79回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

最初にアップル創業者スティー

ブ・ジョブズ氏の名スピーチの話をしました。「・・・人生の時間は限られています。何よりも大事なことは自分の心と直感に従ってその時間を使う勇気を持つことです・・・」。次に『中庸解』冒頭の「天の命ずる之を性と謂う」から始めました。藤樹思想は「全孝」の教えが根本にあります。

中江藤樹の日本陽明学の教えは、地域の枠を超えた普遍性があり、大河ドラマの「西郷どん」も陽明学を信奉して偉大なことを成し遂げました。今回初参加の四名のうち三名が高島市外からの方でした。

藤樹先生の素晴らしい教えを地域外にもしつかり発信して、もっと世間に知らしめる必要があると話し合いました。

塾終了後、場所を替えて和やかに懇親会を楽しみました。

四月七日（土）午後、第80回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

『中庸』を素読後、『中庸解』の「君子はその見ざる所に戒慎す」の項を学びました。魚が水を離れては生きられないように人は道を離れて生きるのには困難である。物事の見えない所、聞こえない所、隠れている所に真実があり、それは時に顕在化するものだ。従って君子（教養人）は独（一人で居る時）を慎んで悪い行いを戒め、善い行いをしようとす

る。私たちもそうありたいものだ。フリートキングでは、現代社会ではグローバル化の中で自己顕示することが当たり前のようになっていくが、却って東洋思想の「慎独」を実行することにより、相手に通じるのではないかと、というような意見が出ました。



「藤樹人間学塾 今後の予定」

5月19日（土）、◎6月2日（土）、
7月7日（土）、8月5日（日）、
◎9月1日（土）、10月6日（土）、
11月3日（土）、◎12月1日（土）、

時間 15時～17時（原則）

場所 安曇川公民館

◎印は塾を終了後、別場所で開催あり